

平成 18 年度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施 設 の 概 要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出版物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿革

昭和10年		釧路市立博物館設立委員会が発足。
昭和11年	7月14日	幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所2階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
昭和24年	2月1日	旧市役所庁舎拡張のため、北大通5丁目(株)丸三鶴屋3階を借り受け移転開館。
昭和26年	7月28日	鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
昭和27年	1月20日	釧路市立郷土博物館新聞創刊(現在の館報)
昭和27年	4月1日	釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。(文部省告示第13号)
昭和27年	10月30日	釧路市立郷土博物館が博物館として指定された。(文部省告示第162号)
昭和32年	7月2日	第5回全国博物館大会釧路市で開催。
昭和33年	4月1日	入館料が有料となる(大人10円、学生5円)。
昭和35年	4月1日	館内資料展示替え、5年計画で開始。
昭和40年	7月8日	第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和41年	7月14日	創立記念30周年記念事業開催。
昭和42年	1月14日	博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
昭和43年	8月	佐藤直太郎コレクション1, 889点寄贈される。
昭和44年	9月3日	安倍寛次コレクション3, 536点寄贈される。
昭和46年	4月24日	釧路市立郷土博物館友の会が発足。
昭和47年～平成11年		飯島一雄コレクション約3万点寄贈される。
昭和48年	9月	釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会が発足。
昭和52年	10月4日	釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
昭和55年	6月18日	釧路市立郷土博物館新館展示等委員会が発足。
昭和56年	5月1日	新築工事開始。
昭和58年	1月3日	「釧路市立博物館」として開館。
昭和59年	7月6日	第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和61年	7月13日	創立記念50周年記念式典・祝賀会開催。
昭和62年	10月6日	第35回全国博物館大会釧路市で開催。
平成元年	2月9日	昭和63年度全国博物館指導者研究協議会(庶務・自然史部門)釧路市で開催。
平成3年	1月6日	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1) 所在地	釧路市春湖台1番7号		
(2) 総事業費	1,911,326,000円		
(3) 敷地面積	4,450.00㎡		
(4) 建築面積	1,528.78㎡		
(5) 延床面積	4,301.76㎡		
(6) 建築構造	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階		
(7) 工期	建築工事着工 昭和56年5月1日	展示工事着工 昭和57年6月4日	
	〳 竣工 昭和58年6月30日	〳 竣工 昭和58年10月15日	

(8) 各階面積					
1 階	1,500.09㎡	3 階	571.17㎡	塔 屋	145.65㎡
2 階	886.75㎡	4 階	755.78㎡	地 下	422.30㎡

(9) 主室面積					
展示室	1,162.88㎡ (1.24階)	市民研究室	21.84㎡ (3階)		
講 堂	165.89㎡ (1階)	図書室	103.39㎡ (3階)		
工作室	103.78㎡ (1階)	実験室	15.54㎡ (3階)		
滅菌消毒室	12.39㎡ (1階)	冷凍室	10.92㎡ (3階)		
事務室	86.63㎡ (1.2階)	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡ (3階)		
特別展示室	97.95㎡ (2階)	印刷室	11.13㎡ (3階)		
魚類収蔵庫	30.53㎡ (2階)	会議室	44.15㎡ (3階)		
開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2階)	植物収蔵庫	30.48㎡ (4階)		
応接室	21.97㎡ (2階)	動物収蔵庫	28.00㎡ (4階)		
地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3階)	開拓記念物収蔵庫	91.32㎡ (4階)		
研究室	66.37㎡ (3階)	機械・ボイラー室	327.79㎡ (地下)		

(10) 収容能力					
展示室	600人	講 堂	100人	市民研究室	10人
				会議室	25人

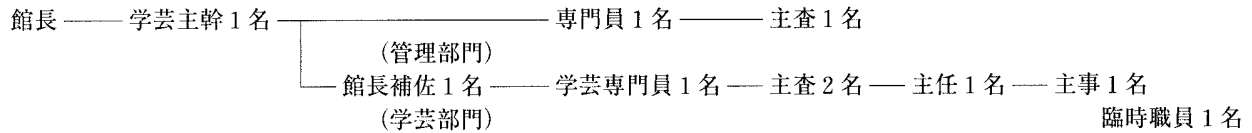
釧路市立博物館

(11) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組 織



(2) 職 員

館 長	小野崎健吾	主 査	加藤 春雄
学芸主幹 (学芸員)	橋本 正雄	主 査	黒坂之美子
館長補佐 (学芸員)	針生 勤	主 査 (学芸員)	戸田 恭司
専門員	大島 研志	主 任 (学芸員)	土屋 慶丞
学芸専門員 (学芸員)	山代 淳一	主 事 (学芸員)	石川 孝織

(3) 私の博物館企画選定委員 (任期 平成18年4月～平成19年3月)

委員長 林田 恒夫	委 員 高橋 国治
委 員 我孫子尚枝	〃 藤田 民子
〃 高嶋 幸男	

(4) 予 算 (平成18年度)

歳入予算総額	5,121 千円	歳出予算総額	45,452 千円
博物館入館料	4,686 千円	管理運営費	43,599 千円
その他	435 千円	事業費	694 千円
		資料収集整備費	208 千円
		教育普及活動費	799 千円
		調査研究費	152 千円

(5) 平成18年度 博物館利用状況

月別入館者状況

月別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高校生	小・中学生	計	一般・大学生	高校生	小・中学生	計			
4	26	495	4	97	596	24	0	2	26	622	359	981
5	25	1,071	10	304	1,385	73	0	1	74	1,459	1,184	2,643
6	26	547	2	51	600	396	0	0	396	996	781	1,777
7	26	853	13	114	980	96	0	21	117	1,097	1,155	2,252
8	27	1,373	41	296	1,710	333	58	111	502	2,212	1,112	3,324
9	26	751	6	101	858	39	39	25	103	961	1,046	2,007
10	26	798	10	106	914	295	0	0	295	1,209	1,291	2,500
11	24	387	2	76	465	58	0	0	58	523	671	1,194
12	25	215	5	15	235	0	0	0	0	235	471	706
1	21	386	2	57	445	0	0	0	0	445	833	1,278
2	23	286	3	35	324	34	0	0	34	358	342	700
3	24	480	8	128	617	20	27	0	47	664	389	1,053
計	299	7,642	107	1,380	9,129	1,368	124	160	1,652	10,781	9,634	20,415

4 資料収集

収蔵資料状況（平成19年3月現在）

区 分	平成16年度 までの累計	平成17年度 新収蔵資料数	平成18年度 新収蔵資料数	合 計
人 文 科 学	47,939	129	365	48,433
自 然 科 学	64,252	3,504	2,490	70,246
美 術 工 芸	215	0	0	215
合 計	112,406	3,633	2,855	118,894

5 調査研究

釧路湿原継続調査・イトウの生態学的研究、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査・炭鉱資料調査、春採湖のヒブナ生息調査・スズメバチ生息調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球規模で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱。漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採取・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒篋・鐙などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者をつりかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

1) 特別展「収蔵資料展」

平成18年4月29日（土）～5月28日（日）

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない未公開資料を含めた所蔵資料を展示。鳥類・昆虫・海の生き物・地学・歴史の各分野の資料あわせて約450点を紹介した。

2) 特別展「暮らしのなかのストーブ」

平成18年 7月14日（金）～ 8月20日（日）

北海道開拓記念館および当館が所蔵するストーブを中心とした暖房器具を展示し、あわせて釧路と石炭の結びつきを紹介した。関連事業としてフォーラム「暮らしのなかのストーブと釧路」および石炭ストーブの燃焼実演を行なった。

3) 企画展「アイヌ語地名を歩く - 山田秀三の地名研究から -」

平成18年 9月 2日（土）～ 9月24日（日）

北海道立アイヌ民族文化研究センターが所蔵する、アイヌ語地名研究の第一人者として知られた山田秀三氏の研究資料を展示することでアイヌ文化の理解と普及に努めた。関連事業として講座「山田秀三文庫の釧路地方に関する資料について」および講演会「アイヌ語地名研究をめぐって」「地図をつくる／地図を読む」を開催した。

4) 特別展 私の博物館「わたしの思い出箱」

平成18年10月28日（土）～ 11月26日（日）

提供者：博物館友の会会員8名。種田正一氏のチョウの標本18箱、林田恒夫氏のツルの置物17点など、提供者の愛蔵品合計50点あまりを展示した。

5) 移動博物館

平成18年10月 4日（水）～ 10月12日（木）阿寒町公民館

平成18年10月12日（木）～ 10月19日（木）音別町文化会館

平成18年10月19日（木）～ 10月26日（木）昭和小学校

博物館として特色ある生涯学習を展開するために、収蔵資料を活用した巡回展を小学校及び公民館等を会場に開催。尚、小学校では、伝統技術の実演をあわせて実施した。

6) 企画展「タキイシの火は消えず - 石炭採掘150年展 -」

平成18年12月27日（水）～ 平成19年 1月21日（日）

釧路ではじめて石炭が採掘されてから150周年となるのを記念して、釧路における石炭産業のあゆみを博物館所蔵の実物資料、写真、解説パネルならびに北海道新聞釧路支社で掲載された連載記事などを展示して紹介した。

7) 移動博物館「博物館氷まつり分館」

平成19年 2月 3日（土）～ 2月 4日（日）

くしろ氷まつり会場にストーブや火鉢などの博物館資料、釧路の気象や博物館活動を紹介するパネルを展示した。ソリの試乗や角巻の試着、キラキラ六花氷の製作などを行なう体験コーナーも設けた。

8) 企画展「博物館に愛に恋！ - レコードジャケット展 -」

平成19年 1月25日（木）～ 2月18日（日）

HBC釧路放送局より寄贈されたレコードの中から、「愛」「恋」が入っている曲名のジャケット約150点を展示した。

9) 特別展 私の博物館「化石コレクション展 - さまざまなアンモナイト -」

平成19年 2月24日（日）～ 3月25日（日）

提供者：大山昌一氏。大山氏自身が採集したアンモナイトをはじめとする道内産化石のコレクションや採集・クリーニング用具、自筆記録ノートなどを展示した。

(3) 各種事業

月 日	事業名	対 象	参加者数
4月8日	釧路昆虫同好会総会 会議室		
4月23日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	43名
4月29日～ 5月28日	特別展「収蔵資料展」 特別展示室		
5月3日～ 5月5日	体験講座「学芸員と遊ぼう」 講堂	小学生～一般	261名
5月7日	学芸員展示解説 (～9/24まで毎週日曜、祝日)		
5月11・12 日	キタサンショウウオ生息調査		
5月13日	スズメバチ生息調査開始		
5月13・14 日	釧路の自然と歴史まるごと紹介 常設展示室	小学生～一般	9名
5月17日	博物館友の会役員会 講堂		
5月20日	春採湖畔草花ウォッチング	小学生～一般	30名
5月21日	釧路町森林公園探鳥会	小学生～一般	35名
5月25日	博物館友の会総会 交流プラザさいわい		
5月26日	道東3管内博物館施設等連絡協議会 平		



写真1 収蔵資料展



写真2 キタサンショウウオ生息調査

5月28日	成18年度役員会・総会 会議室		
5月28日	春採湖畔探鳥会	小学生～一般	22名
5月31日	しらべてみよう春採湖の魚	小学生～一般	5名
6月4日	春採湖ヒブナ研究事業開始		
6月10日～	北斗湿原探鳥会	小学生～一般	11名
7月9日	春採湖畔の花暦200選パネル展 マンモスホール		
6月17日	春採湖畔草花ウォッチング	小学生～一般	5名
6月18日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 南大通、米町	小学生～一般	16名
6月25日	春採湖畔一周探鳥会	小学生～一般	12名
7月8日	しらべてみよう春採湖の昆虫「オサムシ・ゴミムシ」	小学生～一般	22名
7月14日～	特別展「暮らしのなかのストーブ」 マンモスホール、特別展示室		
7月15日	春採湖畔草花ウォッチング	小学生～一般	17名
7月16日	地形・地質探訪会 白湯山	小学生～一般	16名
7月23日	春採湖畔探鳥会	小学生～一般	30名
7月29日	夏休み親子土器づくり教室 講堂	小学生～一般	30名
7月30日	親子の昆虫採集・観察会 温根内	小学生～一般	16名
7月30日	昆虫の名前をしらべる会 講堂	小学生～一般	25名
7月30日	入館者百万人達成		
8月2日	体験講座「せんべいをつくろう」 講堂、前庭	小・中学生	31名
8月3日	体験講座「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	20名
8月5日	フォーラム「暮らしのなかのストーブと 釧路」 講堂	学生・一般	17名
8月5日	石炭ストーブ燃焼実演 前庭		
8月6日	まが玉づくり 講堂	小学生～一般	52名
8月12日	しらべてみよう春採湖の昆虫「トンボ池 の昆虫」 トンボの池	小学生～一般	15名
8月19日	春採湖畔草花ウォッチング	小学生～一般	5名
8月20日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 北大通	小学生～一般	17名
8月20日	しらべてみよう春採湖の魚	小学生～一般	9名
8月22日～	おさかなセミナーくしろ2006パネル展 マンモスホール		
8月24日	友の会「博物館まつり」実行委員会 講堂		
8月27日	春採湖畔探鳥会	小学生～一般	20名
8月30日	おさかなセミナーくしろ2006講演会 講堂	小学生～一般	74名
9月2日～	特別展「アイヌ語地名を歩く - 山田秀三 の地名研究から - 」 マンモスホール、特別展示室		
9月2日	講座「山田秀三文庫の釧路地方に関する 資料について」 北海道立アイヌ民族文化 研究センター古原敏弘氏、小川正人氏 講堂	学生・一般	42名
9月9日	特別展講演会「アイヌ語地名研究をめぐ って」 千葉大学中川裕氏 講堂	学生・一般	73名
9月9日	ミュージアムコンサート「琴の夕べ」 小畑恵一氏 常設展示室	小学生～一般	40名
9月10日	春採湖畔一周探鳥会	小学生～一般	23名
9月10日	しらべてみよう春採湖の昆虫「スズメバ チの観察」	小学生～一般	13名



写真3 しらべてみよう春採湖の魚



写真4 特別展「暮らしのなかのストーブ」



写真5 地形・地質探訪会



写真6 入館者百万人達成記念式典

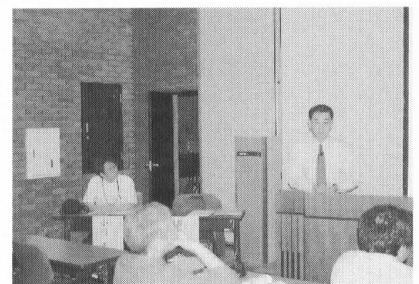


写真7 講座「山田秀三文庫の釧路地方に関する資料について」

釧路市立博物館

9月16日	春採湖畔草花ウォッチング	小学生～一般	28名
9月16日	しらべてみよう春採湖の魚	小学生～一般	3名
9月23日	特別展講演会「地図をつくる／地図を読む」 国土地理院常富治義氏 講堂	学生・一般	38名
9月24日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 釧路駅周辺	小学生～一般	9名
9月28日	「私の博物館」企画選定委員会 会議室		
10月1日	第16回「博物館まつり」 講堂、前庭		221名
10月4日～10月12日	巡回展「移動博物館」 阿寒町公民館		
10月12日～11月12日	特別展「沖縄染と北海道のアイバレー文様展」 特別展示室		
10月12日～10月19日	巡回展「移動博物館」 音別町文化会館		
10月14日	ミュージアムコンサート「心花こんさーと」 常設展示室	小学生～一般	134名
10月19日～11月1日	巡回展「移動博物館」 昭和小学校		
10月22日	春採湖畔探鳥会	小学生～一般	24名
10月25日	春採湖のヒブナ稚魚放流		
10月27日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会（畳の張替え）」 昭和小学校		
10月28日～11月26日	特別展 私の博物館「私の思い出箱」 マンモスホール		
11月3日	博物館友の会講演会「阿寒湖のマリモ - その生態と保護 -」 若菜勇氏 講堂	学生・一般	35名
11月14日	春採湖調査会 講堂		
11月11日	学芸員トーク「スズメバチの被害と傾向」 土屋主任 講堂	小学生～一般	16名
11月18日	学芸員トーク「絵はがきを見る - 当館の収蔵資料から -」 戸田主査 講堂	小学生～一般	24名
11月19日	春採湖畔探鳥会	小学生～一般	19名
11月25日	学芸員トーク「鳥の生活のふしぎ」 橋本学芸主幹 講堂	小学生～一般	23名
12月2日	学芸員トーク「貝塚と湿原の貝化石」 山代学芸専門員 講堂	小学生～一般	18名
12月9日	学芸員トーク「日本－ベトナムの炭鉱技術と文化交流」 石川主事 講堂	小学生～一般	47名
12月16日	学芸員トーク「春採湖のヒブナ - その生態と保護 -」 針生館長補佐 講堂	小学生～一般	11名
12月20日	教育大学博物館実習		
12月21日	館内資料整理日		
12月27日	教育大学博物館実習		
12月28日～1月21日	企画展「タキイシの火は消えず - 石炭採掘150年展 -」 マンモスホール		
12月28日	体験講座「おそなえもちをつくろう」 講堂ほか	小・中学生	72名
1月10日～1月14日	体験講座「木の葉しおりづくり」 マンモスホール	小学生～一般	115名
1月12日～1月17日	まが玉づくり 埋蔵文化財調査センター展示室	小学生～一般	293名
1月12日	「私の博物館」企画選定委員会 会議室		
1月13日	雪と氷の自然観察	小学生～一般	10名
1月14日	体験講座「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	18名
1月18日	春採湖調査会 講堂		



写真8 巡回展「移動博物館」 昭和小



写真9 春採湖のヒブナ稚魚放流

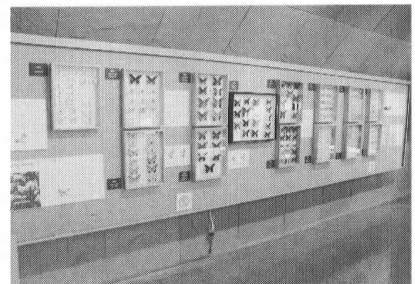


写真10 特別展 私の博物館「私の思い出箱」



写真11 体験講座「おそなえもちをつくろう」



写真12 体験講座「木の葉しおりづくり」

1月25日～ 2月18日	企画展「博物館に愛に恋！ - レコードジャケット展 -」 マンモスホール	小学生～一般	16名
1月28日	日本野鳥の会釧路支部総会 会議室		
2月3・4日	博物館氷まつり分館 国際交流センター 前庭くしろ氷まつり会場		
2月4日	歩くスキーで冬の湿原ハイク 温根内木道		
2月9日	春採湖調査会 講堂		
2月17日～ 3月25日	特別展 私の博物館「化石コレクション 展 - さまざまなアンモナイト -」 マンモスホール	学生・一般	110名
2月17日	講演会「地図は身を助ける」 日本地図センター野々村邦夫氏 講堂		
3月1日	春採湖調査会 講堂	小・中学生	16名
3月3日	体験講座「化石クリーニング教室」 講堂		



写真13 博物館氷まつり分館

(4) 出版物・刊行物

- ・釧路市立博物館館報：昭和27年1月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成19年3月号をもって396号に達した。
B5版、12頁、800部、年4回刊行。
- ・釧路市立博物館紀要：昭和47年3月に第1輯を発刊、平成19年3月に第31輯を刊行。
- ・博物館総合案内：B5版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。
- ・解説シリーズ：B6版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ9まで刊行。

7 協力事業

- (1) 北海道博物館協会・道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力
- (2) 関係団体への協力
釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会
- (3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力
- (4) 博物館実習
平成18年7月～平成19年2月：北海道教育大学教育学部釧路校11名
平成18年8月1日(火)～平成18年8月6日(日)：駒澤大学1名、苫小牧駒澤大学1名、立命館大学1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2006. 4. 8	モンズズメバチの巣	1	池田 明美
2	4. 12	教科書、感謝状、タバコ関係物品、幟など	83	立野 健史
3	4. 14	千人針ほか戦争関連資料	6	谷 達弥
4	7. 26	石炭ストーブ	1	桜岡 正之
5	8. 9	CD	1	「蔵」を再生させる会
6	9. 6	スズメバチの巣	14	㈱北海道防疫サービス
7	9. 26	パイプ	1	曾根 樗次
8	10. 24	ステラカイギュウ化石	1	仲村 弘
9	12. 13	雄別炭砒(株)社旗、マッチ箱	2	奥山 道紀
10	12. 20	二重まわし	1	工藤 悦子
11	12. 27	明治時代の書籍、掛け軸、大正天皇御大婚 二十五周年記念写真、樟枰など	17	佐久間 令次
12	2007. 1. 26	レコード、音楽雑誌	57	黒龍 榮一
13	2. 9	釧路炭田炭鉱関連写真	201	釧路産炭地域総合発展機構
14	3. 2	掛け軸、割増金附戦時貯蓄債券など	10	杉山 智子
15	3. 20	大正時代の北海道地図、北海道拓殖功労者 旌彰録	2	伊能 洋